

●早朝。時計の秒針が部屋に鳴り響く

●静かに扉が開く

スチア

「…」

スチア

「…どうやらご主人様はまだぐっすりみたいなの…」

リニア

「…まだ、朝早いもんね」

リニア

「じゃあ始めるの…」

●ごそごそとベッドに潜り込む音

スチア

「んっしょ…っ、よっと…」

リニア

「っ…、失礼します」

スチア

「じゃあ…ズボン、脱がすの」

スチア

「っしょっ…、んっ、んっ…」

スチア

「ごくり…これがご主人のおちんちん…」

リニア

「まだ、大きくなってないね…」

スチア

「このままじゃ二人で舐められないの…まずは大きくするの…んっ、ちゅっ…れろっ…ちゅぶっ」

スチア

「んっ、はむっ…ちゅ、れろ、れーろ…っ。れろっ…ちゅ、ちゅぶっ、んっ…ちゅ」

スチア

「はうっ…ちゅ、れろっ、れろっ…れろれろ…ちゅばっ、ちゅぶっ…んばっ」

リニア

「あ…ご主人様のおちんちん…ちよつとずつ、大きくなってきた」

スチア

「んっ…すごい…さっきまでとは全然っ…ちゅ、じゅる…れえろ…れろ、ちゅるっ」

スチア

「ぶはあ…、ふう…ほらリニア、一緒に舐めるの。ご主人様にご奉仕するの」

リニア

「う、うん…」

スチア

「スチアは右から舐めるの。だからリニアは左から舐めるの」

リニア

「…が、頑張る」

スチア

「じゃあ…」

スチア

「いただきます…なの」

リニア

「…いただきます」

スチア

「んれえろ…れろっ…はむっ…ちゅ、くちゅ、ちゅ…れろちゅ、んはぁ…ちゅ」

リニア

「ちえろ…ちゅ、んっ…べろっ、ぺろ…ぺろぺろ、んはぁ…れろっ、ちゅ」

スチア

「あ…れえろ…ちゅ、ご主人様、起きたの？ おはよう…ちゅぷっ、ございます…なの」

リニア

「…べろっ、ちゅ…おはようございます。ご主人様」

スチア

「んっ…朝のご奉仕…もう少し、かかりそう…なの。れろじゅる…待っててください、なのお」

スチア

「そうなの…して欲しい、プレイがあったら…くちゅ、ちゅる…駄けてほしいのお…スチア達は…んっ、何でも…するのお」

スチア

「…？ どうしてそんな顔をするなの？ 奴隷は朝からご奉仕するのが当たり前なの…」

リニア

「あの…ご主人様…もしかして、その…気持ちよくなかった…ですか？」

スチア

「ご主人様、お願いなの…スチア達が出来るとはこれくらいしかないの…」

スチア

「奴隷は外で自由に働けないから…ご奉仕しかできないなの…」

スチア

「拒まないで欲しいのっ…捨てないで欲しいのっ」

リニア

「…お願い…です。ご奉仕させて、もらえませんか？」

スチア

「…！　ありがとうございますのっ。ほら、リニア」

リニア

「う、うんっ…はうむっ、ちゅ…ちゅぷっ…」

スチア

「おちんちはリニアがご奉仕なの…だからスチアはご主人様のお耳をお掃除するの」

リニア

「んっ、れろっ…ちゅ、ちゅぷっ、んっ…。んっ、くちゅ…ちゅぱっ、ちゅる、ちゅるる…ちゅ、んはぁ…、はぁーっ…、ちゅ、ちゅる、ちゅ、ちゅぷっ、ちゅ、ちゅるる…んっ、んっ…、んふっ…ぱぁ、はーっ…、はむっ…ちゅ、ちゅる、ちゅぽっ、ちゅぷっ…ちゅる…ちゅ、はむっ…ちゅ、んちゅ」

スチア

「こっちのお耳から…お掃除…なの」

スチア

「ふーっ…」

スチア

「ぞわぞわする、なの？」

スチア

「お耳舐めるの好きなの…だからいっぱい舐めるの」

スチア

「はぁーっ…んっ、れえろ…ちゅ、んっ、んはぁ…れろ、れろ…れえーろ…ちゅ、ちゅぷっ、んまっ…はうむっ…んっ、んーっ…れろお、」

スチア

「ぱはぁ…こっちのお耳、ほぐれてきて…いいところなの」

スチア

「リニア…リニアもお耳掃除するの」

リニア

「んっ…でもまだ、最後までおちんちんを気持ちよくできてないよ」

スチア

「じゃあ手でご奉仕するの…それなら二人で両方からお耳をお掃除できるの」

リニア

「う、うん…わかった…」

リニア

「んっ、しょ…」

リニア

「失礼…します」

スチア

「ご主人…こっちが右なの」

リニア

「えっと、左…です」

スチア

「みーぎ」

リニア

「ひだり…」

スチア

「ふーっ…」

リニア

「ふーっ…」

スチア

「じゃあ…」

スチア

「舐めるの…」

リニア

「舐めますね…」

スチア

「はむっ…んちゅ…ぱっ、れえろ…、れろっ、んっ、ちゅ、ちゅぶ、れえろ、れえろ…んちゅ…」

リニア

「はむっ…ちゅ、れろ…、れろ…れろ…、んっ、はぁーっ、んれろ…れろ…」

スチア

「ちゅ、おちんちん…すごいの」

リニア

「んっ…ガチガチ…です」

スチア

「じゅる…んっ、れろ、れろお…ぱっ、リニアがいっぱい舐めたから…興奮したなの？」

リニア

「っ…れろ…れえーろ…私…フェラ、んっちゅ…得意なんです」

スチア

「ちゅぱっ…ご主人様、すごくえっちな顔、してるの」

リニア

「…んちゅ、気持ちよくなってもらえて…嬉しいです」

スチア

「手でもご奉仕するの。スチアが先っぽ触るの」

リニア

「じゃあ…私は…ここ、かな…」

●手コキ音

スチア

「んっ…はぁーっ…、もうベトベトなの…」

リニア

「うう…溢れてきます…」

スチア

「我慢汁がこんなに濃いと…」

リニア

「ご主人のせいし…すごそうです…」

スチア

「はむっ…ちゅ、くちゅ、ちゅぱ…れろお、れろ、れろれろれろ、れろお…んはぁ…、はぁ…。
ちゅ、れえーろ、れろ、ぱはぁ…はうむっ、ちゅ、ちゅぶっ、れえーろ、れろんっ」

リニア

「ちゅ…れろ…、れろ…、んっ、ちゅぶ…、ちゅ、ちゅぱ…ちゅぱ…んちゅ…、ふう…。はむっ、
ちゅ…ちゅぶっ、ちゅ…れろれろ…んっ、っはぁ…あむっ、ちゅぶっ…ちゅ、れえろ」

スチア

「っはぁ…おちんちん…びくびくしてるの」

リニア

「かわいい…です」

スチア

「せーしが上がってきてるの…わかるの」

リニア

「いつでも出していいですからね…?」

スチア

「そうなの……気持ちよくなるの」

リニア

「もっと、ご奉仕……してお手伝いしますね」

スチア

「れろんつ、れろれろ…ちゆ、つばあ…はうむつ、んちゆ、ちゆつ、ちゆぷつ、んふつ…ちゆ、ちゆぱつ、れろれろれろ、れえーろお…ちゆる、つばあ…じゆるる…ちゆ、ちゆぱつ、ちゆぷちゆぷつ」

リニア

「れろ、れろれろ……ちゅ、つはあ……はむっ……んちゅ、ちゅ、ちゅぷ……はうっ……ちゅ、ちゅぱ……れろれろ……れろ……れーろ……ちゅ、つはあ……、ちゅる、ちゅるる……ちゅ、ちゅぱ……ちゅぷちゅぷ」

スチア

「あ、出そう…なの。いいのっ…我慢せず出しちゃうのっ」

リニア

「…私達の手に出して、くださいっ」

スチア

「出してっ」

リニア

「出して」

スチア

「出してっ」

リニア

「出して」

スチア
「びゅ」

リニア
「びゅ」

スチア
「びゅ」

リニア
「びゅ」

スチア
「びゅ~~~~~っ」

リニア
「びゅ~~~~~っ」

●射精音

スチア
「あっ…出たのお…」

リニア
「いっぱい、出ました…」

スチア
「ぺろっ…んっ、やっぱり…濃いの」

リニア
「ぺろ…、あっ…ほんとだ…」

スチア
「ご主人様、どうだったなの？」

リニア

「気持ちよく…なれましたか？」

リニア

「…っ」

スチア

「よかったの…」

スチア

「毎朝ご奉仕するの…それがスチア達にできることなの」

リニア

「…頑張り、ますね」